



手軽で多用途&絶大な効果で話題沸騰中の

## フルテックNCF Boosterの姉妹品に NCF Booster-Signalが新登場!

手持ちの機器やケーブルの性能を引き出す画期的アクセサリとして、昨年秋の発売以来すでに大好評を得る「NCF Booster」。その効果をさらに幅広く手軽に楽しめる姉妹モデル「NCF Booster-Signal」が登場した。コネクタホルドを「フラットタイプ」とし、電源部はもちろんRCAやXLR、HDMI、USBなど多様な信号系にも対応。またトップクランプを別売にして価格を抑えた。NCF Boosterと互換性もあり、アイデア次第で多彩な用途に対応できる。早速、旬の音本舗\*福田屋でその効果を検証した。

製品 Photo by 田代法生



## FURUTECH NCF Booster -Signal

¥19,800/税別 コネクタ、ケーブルホルダー

●構造：独自調合によるマルチマテリアルハイブリッド構造  
●ベースユニット外部サイズ：約94.1×99.7mm  
●ベースユニット構成：オーディオグレードABS樹脂とカウンターウェイトつき滑り止め/衝撃吸収プレート  
●シャフトバーとシャフトバーキャップ部：ニッケルメッキ真鍮  
●高さ設定：基本82.5mm、延長142mm（オプションでさらに追加可能）  
●質量：基本約280g、延長約340g  
●コネクタホルド部：オーディオグレードABS樹脂とNCF調合ナイロン樹脂（静電効果）  
●付属品：エクステンションシャフトバー×2、シリコン固定リング×2

Text by  
福田雅光  
Masamitsu Fukuda



### 激変クラスの魅力発揮が見逃せない

●NCF Boosterの効果とは？  
制振効果と静電気対策でケーブルの表現力を強化

フルテックから昨年、予想外の方法を使うアクセサリが登場してきた。電源プラグや機器側インレットのコネクタ部に装着して音を改善するNCF Booster

rである。使うとSN比や解像度を改善して表現力を強化する。その効果には「えーっ、こんな問題があったのか」と驚かされた。

構造はベースユニットと、2本のシャフトバー、コネクタを下から支える下部コネクタホルド、そしてステンレスパウダーを基本材料とし、複数の特殊制振金属パウダーを調合、ナイロン樹脂と複合させた重量のある上部コネクタホルドで構成され、高さ調整機能がある。装着する部分を支え、上から押さえるような構造である。下部にはオリジナルのNCF素材を用いた樹脂材を採用し、フルテック独自の調合によるマルチマテリアルハイブリッド構造と呼んでいる。NCFは、ナノ粒子化したイオン化する特性の強い鉱物を樹脂とハイブリッドした素材で、2015年に開発された。静電気対策の効果も備え、同社ではこれまでに最高級電源プラグやコネクタ、コンセントなどの本体樹脂や絶縁樹脂材に採用し、音質性能を飛躍的に向上させている。

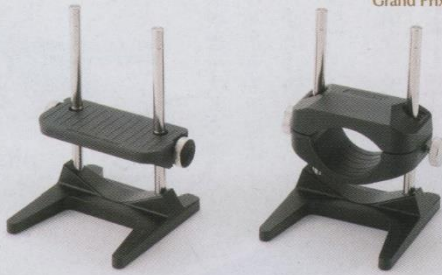
電源ボックス入力部に装着外せなくなる大きな効果

NCF Boosterを電源ボックスの入力コネクタ部に装着すると、音が澄んでくもりも少なくなる。設置はIECコネクタ

**NCF**  
(ナノクリスタルフォーミュラ)



# アイデア次第で発展応用できる待望の姉妹モデル ますます用途が広がり魅力度が大幅に向上した



「NCF Booster」のフラットタイプが「NCF Booster-Signal」(写真左)。オリジナルのNCF Booster(¥32,800・税別、写真右)とも互換性があり、オプションや組み合わせで工夫すれば、複合させて多様な使い方ができる



コンポーネントや壁コンセントに接続された不安定なコネクタやケーブルの振動を効果的に吸収し、特殊素材「NCF」の効果で静電気も抑えて、それぞれのパフォーマンスを飛躍的に向上させる

- ① ベースユニットとシャフトバー
- ② シャフトバーキャップ
- ③ 調節ネジ
- ④ コネクタホルド部

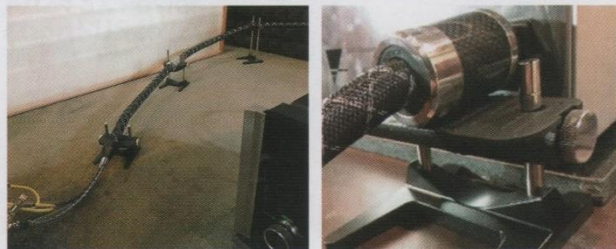


NCF Booster-Signalには、NCF Boosterの上部パーツ「TOP CLAMP(トップクランプ)」(¥13,800・税別)もオプションで用意。追加の装着で更なるグレードアップも可能(製品には付属せず)

オプションのExtension Shaft Bar(エクステンションシャフトバー)(¥3,000/10本セット・税別)。1本あたりでの高さは59.5mm



使用例



これまでの電源プラグ/コネクタのみならず、RCAやXLRプラグ、HDMI、USBなどの信号系統、スピーカーケーブルや、プリアンプ、パワーアンプの各端子、壁コンセントにも活用できる

※NCF Boosterのシャフトバーの長さ先端ネジ部形状が新仕様に変更され、バー延長時にベースから取り外す必要がなくなった(2018年1月25日出荷分より)。2本同じ仕様のシャフトバーと先端キップ部が付属される。また、高さ調節ネジ部の長さも延長された

が少し持ち上がるようにして、高さを調整ネジで固定する。音の緩みを減少させ透明度を高め歪み感も減少した。コントラストの強化やレスポンスも改善される。音は大変明確に描かれ、彫りの深い表現を感じる。また中高域はすっきり冴えてニュアンスも澄み切り、空間の広さや間接音成分もきれいになる。シャフトバーの高さは延長可能で、付属で140mm、別売の追加バーも用意されている。

## ● NCF Booster-Signalの検証 用途がさらに広がった 手軽に導入できる姉妹品

Signalとあるが、電源部にも使うことができる。パワーアンプに接続する電源ケーブルのI ECコネクタ部に装着すると、透明度が向上し、中高域の抜けが

## 各部分での作用と効果を検証 幅広い用途で魅力を発揮した

た。これは、上部の特殊制振金属パウダー配合の重量プレート部が省略されたものと考えていい。下部コネクタホルド部がフラット形状になった以外はほぼ共通で互換性もある。用途としては下部から支える方法で、ラインケーブルのプラグ部分や、ケーブルインシュレーターとしても使いやすくなった。

良くなり、レスポンスを強化して効果は魅力的だ。低音は歯切れ良く鈍さが発生しない。低音弦楽器は解像度を高め、高音の表情もきれいに澄んでいる。

XLRケーブルのプリ、パワー間の中央部に装着する方法では、中低音に厚みを出し、低音の質感や低音リズムなどが改善される。

プリアンプ入力側のXLRプラグ部に装着。この場所の方が厚みと透明度のしつかりした作用が感じられる。解像度も高く得られる。

プリアンプXLR出力のプラグ部にもさらに装着する。低音力が強化され、さらに厚くエネルギーと重心を下げ、質感を高める。ただし、プリアンプ間の両端に装

着するのは効き過ぎる場合もある。その際は、どちらか片方で効果的な方を選ぶといいだろう。

プリアンプXLR入力部に別売のトップクランプを追加すると、低音の重量感が出るため響きに一層の深みが出る。高音は解像度とSN比を高め、すっきりする。

スピーカーケーブルが床と接触する部分は格段の効果

てテストすると、音質は高SN比で澄みきり、この種のアクセサリとしては格段な効果を見せる。解像度が高く、音質は瑞々しい。ボーカルのフォークスを絞り、高域特性は繊細に冴えてくる。テストに使用したのは1mで約2000円程度のケーブルだが、こんなに影響することには驚かされる。

どの部分にも効果を感じることができた。導入には、最初から全てに装着できなくても、まずは重点的に採用して、様子を見て、それから必要を感じたところへ追加していくといい。電源ケーブルやスピーカーケーブルなどをフロアテイングする効果は、見逃せないものがある。